

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ

〈語学・大学留学コース〉2月レポート

“理解から尊重へ”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、こんにちは。

突然ですが、2月に感じた日本との文化の違いをふたつ紹介します。まずは「旧正月を祝う」ということです。私はベトナム出身の友人から“Happy Luna New Year!”とお年玉のようなものを貰いました。旧正月は



友人から貰ったお年玉(?)

なじみが薄かったのに加え、友人にお金をあげるという行為にも驚きました。



ハウスメイト作のフラワーアレンジメント
メッセージ付きです

もうひとつは「バレンタイン」です。大学内のイベントで作ったフラワーアレンジメントを、ハウスメイトがダイニングテーブルに飾ってくれました。少なくとも私のまわりでは、花というよりチョコレートを贈る人が多かったため、ちょっとした違いを感じた日でした。

長くなりましたが、ここからは Mother Language Day というイベント、授業の一環として行った活動と Spring Break の過ごし方について紹介します。

CONTENTS

1. Mother Language Day について
2. Children's Mentoring について
3. Spring Break について

1. Mother Language Day について

去る 2 月 21 日に、Mother Language Day(国際母語デー)にちなんだイベントが行われました。この日は、バングラデシュで起こった悲惨な出来事の記憶を風化させないよう、ユネスコが定めた記念日のひとつです。私自身も、この奨学金制度に応募した時からこの行事に関わりたと思っていました。イベントでは、留学生が



日本語について紹介した時の
プレゼンテーションの一部です

堂々とパフォーマンスをする姿を見て、尊敬の念を抱くと同時に日本語というたった一つの自分の母語を大切にしたいと強く思いました。別の日には、日本語について紹介する機会をいただき、私は「もったいない」という単語と bow(お辞儀)について紹介しました。こうした機会を通じて、言語は文化と密接な結びつきがあるということを再確認しました。

2. Children's Mentoring について

以前も紹介した Cultural Connections という授業の一環で、3週間にわたって放課後に小学校を訪問し、アクティビティを行いました。初回はたった1時間でもげっそりと疲れてしまったのですが、2週目以降は自信



アクティビティにちなんだ
うさぎのポーズをしてくれました！

をもって小学生やメンターとしてサポートしている学生に指示が出せるようになりました。自分が今までに経験したアクティビティを、子どもたちからのアイディアも取り入れ、彼らにもわかりやすいようにアレンジすることで(例えば食べ物というテーマでは、ハンバーガーやピザといったなじみのあるものを使う)、充実させることができました。私はアクティビティのルール説明の担当だったので、話すスピードや実演を交え

て理解しやすくなるような工夫をしました。そのおかげなのか、とあるアクティビティでは子どもたちに加えてメンターの学生も率先して参加してくれるようになり、たいへん手ごたえを感じました。フィンドレーに来てから、幅広い世代の方と関わる機会をたくさんいただき、英語力だけではなく相手の年齢や境遇に合わせた話し方や話題を考える力が上達したように思います。今回の経験も、今後の活動に活かされていくことを確信しました。

3. Spring Break について

2月下旬から1週間と少し、大学が春休みに入りました。この機会に、私は友人とニューヨークを旅行しました。都内の大学に通っている私ですが、ニューヨークの空気の汚さは予想をはるかに上回っていました。あちこちにゴミやらタバコやらが散らばっており「汚いなあ」と思うのですが、通りをひとつ挟むだけでそれまでとは違って変わり整然とした街並みが現れることもあり、歩くのに退屈することはありませんでした。もし訪れる機会があれば、おすすめしたいのはセントラルパークです。遠くに高層ビルを眺めながら散歩することはとても気持ちよく、偶然聴くことができた楽器の演奏で心が穏やかになりました。9.11 ミュージアムやタイムズスクエア…行きたいと願っていた場所に行くことができとても良い思い出になりました。



セントラルパークにある Bethesda Terrace
平日でしたがとても賑わっていました



フェリーから見たマンハッタンの街並み

*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら

kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になればと思います。報告書の感想もお待ちしています！